

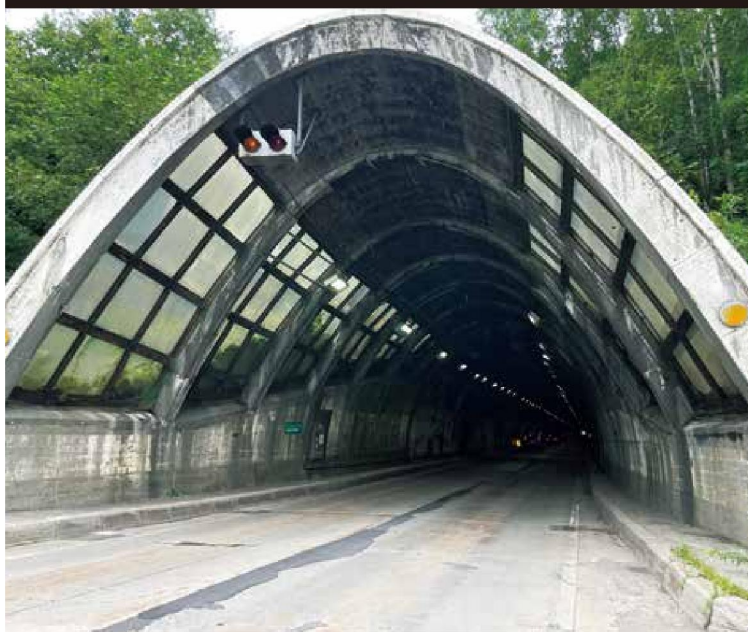
定

山溪トンネル（ルーバー）

光を取り込むルーバー構造のトンネル

Jozankei Tunnel 1969

定山溪トンネルの坑口には、雪崩対策のためのアーチ構造と、光をやわらかく取り込むルーバー構造が設けられている。ガラスブロックを用いたルーバーは、トンネル出入口における急な明るさの変化を緩和し、運転者が違和感なく進入できるよう配慮されている。機能性もさることながら、印象的なデザインもこのトンネルの魅力となっている。



【建設年代・変遷】

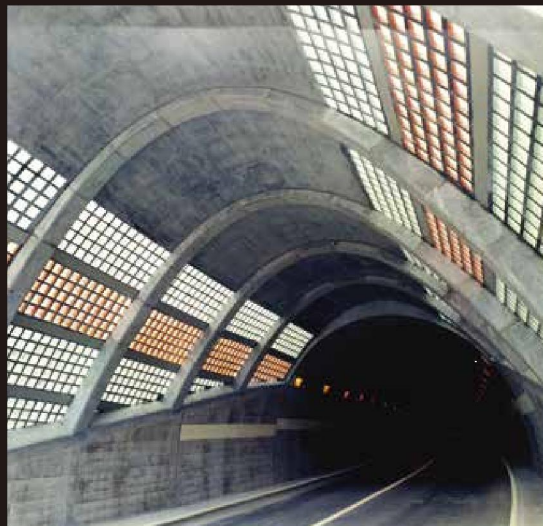
●1969年(昭和44年) ●1984年(昭和59年):改修(ルーバー部分の改修)

【建造物の特徴】

●規模:全長1,124m

●構造:山岳トンネルルーバーはコンクリートのアーチブロックをPC 緊結させたベルマウス型(ラッパのように広がった形状)

明暗順応に配慮した運転しやすい構造 Jozankei Tunnel 1969



写真下:建設当時の定山溪トンネル

